

志木市議会議員 無所属

# 天田いづみの議会だより

## 市議会・まちづくり情報



〒353-0006 志木市館1-1-2-108

Tel/Fax:048-471-1338

E-mail: amada@ff.e-mansion.com

天田いづみのホームページ <http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>

第28号 2005年8月

### ・ ・ ・ 長沼市長 初議会で市民病院損害賠償議案 ・ ・ ・

6月19日の市長選挙では市議会議員19人中天田いづみ以外の18人が相手候補(前助役)を応援したという状況下、長沼明新市長での初議会(7月11日~28日)には多くの市民が傍聴に詰めかけ、大変な緊張感の中で質疑を行いました。

中でも、市民病院の医療過誤に関わる「損害賠償の額を定め、和解することについて」の議案では、2月16日の和解成立を受け、病院側は速やかに対応したにもかかわらず、穂坂前市長が3月議会に議案を提出せず、臨時議会も召集しなかったことが明らかになりました。

環境福祉常任委員会に出席を求めた院長の答弁から、今回の患者様は非常に特殊な病気であり、日本大学医学部付属板橋病院での手術後、御家族の希望により市民病院小児科で治療を受けてきた経緯の中で、第三者の小児外科専門医から転院の遅れが要因とされたことに対し、病院側は患者様の立場に立ってその責任を認め、病院全体で誠意をもって対応してきたことが明らかになりました。

私は、前市長・助役が逐一詳細に報告を受けながら、弁護士体制の強化等適切なサポートもせず、和解成立後に「再検証」を命じて議案提出を遅らせ、「訴訟に持ち込むことでご遺族に多大な負担をかけ

るよりも、一刻も早く賠償を」という病院の意向に反し、事態の悪化を招いた責任の重大さを指摘しました。

マスコミが先行したことによる患者や市民の不安に応え、信頼回復のための情報公開・説明責任も求め、早速院内に掲示されました。

市民病院の小児科は近隣自治体に夜間・休日の診療体制が無い中、常勤医師4人を中心に、24時間365日の救急体制で地域医療に貢献しています。

長沼市長は公約である市民病院再生に向け「市民病院ルネッサンスプロジェクト委員会」を立ち上げる予定です。市民に開かれた検討へ皆様のご意見をお寄せ下さい。



館第2排水ポンプ場工事現場を視察(05. 07. 19)

## 2005年7月議会 一般質問より



### 1. 市民協働を基盤とした行政運営について

#### (1) 人事計画について

◆ 20年間職員採用凍結の地方自立計画見直し…公務員が担うべき職務、民間あるいは専門性ある市民が担った方が公益にかなう職務を根本から検証した上で、必要最低限の職員採用を行っていくべき。若い世代が補充されなければ、職員の意欲低下は免れない。

◆ 臨時職員の任用形態…現在3種類となっており、同じ職務で賃金が異なる等、人事管理上も好ましくない。本来あるべき姿に正していくべき。

【市長】 将来にわたって職員が担う公務の領域などを的確に把握し、適正な人事計画を立て、職員定数の抑制を図りつつ計画的な採用について検討していく。臨時職員については法に沿った任用形態としていきたい。

【天田】 ◆ 市長公約の病気休暇見直しに留まらず、特殊勤務手当、退職時の特別昇給等、公務員優遇と言われる制度についても見直すべき。

◆ 給与体系…公務員は定年まで上がり続けるが、民間は一定年齢からは下がっていく。志木市のラスパイレス指数(国家公務員の給与を100とした場合の数値)が低いのは、早くから昇任試験を導入し、昇格・昇給を厳格にやってきたことによるものであり、給与体系自体は国家公務員と遜色ない。

◆ 定年退職者が今後増えていく。専門的な知識・経験を有する職員については「58歳から理事(部長職を外れる)、60歳定年退職」にこだわらず、市全体の人事計画の中で検討を。

◆ 少子高齢社会における福祉を基盤とした組織のあり方を構築すべき。

【市長】 この提案の趣旨を踏まえ検討していく。



#### (2) 行政パートナーについて

公務への市民参画、市民にとっての新しい公益のあり方構築は重要だが、行政パートナーは地方自立計画に基づき組織化ありき、業務ありきでやってきたがために、業務の効率化、サービス向上、守秘義務等に様々な問題が発生している。

◆ 個々の団体との委託契約のため、適切でない人材を外すことができない。一方、(社)朝霞地区シルバー人材センターでは事務局が説得して、発注者の意向に沿えるよう、業務転換等を行っている。

◆ 行政パートナーをとりまとめる市民組織があり、人材育成、教育訓練、人材派遣、適性の見極め等やれるとよいが、現段階では難しい。

◆ 村山快哉堂では3年間の市民ボランティア講座を経て研修を重ねた市民が、行政と協働でしくみづくり、業務改善しながら管理運営も行っており、こうしたボトムアップのあり方が望ましい。

◆ 評価のあり方…個々の行政パートナー委託業務に対する評価だけでなく、市民協働全体のしくみも含めた評価、検証が必要。

【市長】 志木市行政安定化プロジェクトの中で、行政パートナー制度のあり方や評価制度そのものも含めて、しっかりと検証をしていきたい。

### (3) 指定管理者制度について

現在管理委託している公共施設のみならず、地方公共団体が自ら管理すべきと法に定められているもの以外は図書館、公園等も全て対象となる。公共施設のあり方全体をオープンに検証すべきと主張してきたが、進んでこなかった。

◆ 市民会館、市民体育館等を管理委託している(財)志木市文化スポーツ振興公社について…前市長が公社職員に身分保障を約束したために、ゼロベースでの検証、業務改善が思うように進んでいない。一方で、市民手づくりのサマーコンサート、演劇ワークショップから市民劇団設立等、市民文化向上のために市民協働で努力してきた点も踏まえて判断すべき。

◆ 社会福祉協議会に管理委託している老人福祉センター、及び、(社福)ルストホフ志木に無償貸与している老人デイサービスセンターについて…介護保険制度改革で新たに必要とされる地域包括支援センター、新予防給付、地域支援事業等の機能を持つ地域福祉の拠点として幅広い活動が展開されるべき。

【市長】指定管理者制度の選定方法についてはご指摘の通り、これまでの経緯を踏まえて最良の方法を選択していきたい。デイサービスセンターについては介護予防拠点として整備するのか、指定管理者制度を適用するのか早急に検討したい。

【天田】市民会館の回転率は30%台であり、経営努力を。仮に、公社が指定管理者に指定されて、現在派遣している市職員を引き上げても経営可能な実務、コストの両面を整備すべき。

## 2. 市民病院について

◆ すぐやるべきこと…日々の経営状況の把握(入退院、紹介率、科毎の収支から目標管理へ)、クレーム・意見に対する情報公開、医療福祉相談のPR等

◆ ルネッサンス(再生)プロジェクトで検討すべき事項…地域医療連携、小児科重視、リハビリテーション等高齢者医療の機能充実、自治体間の広域的運営、地方公営企業法の全部適用等

【市長】常勤医師不足の中での救急診療体制維持、26年を経た病院施設、医療機器の更新等、課題は山積している。市民病院ルネッサンスプロジェクト検討委員会を設置し、市民に信頼される安心・安全な市民病院となるよう、再生計画づくりに取り組む。

【天田】自治医科大学からの派遣が今年度からストップしており、医師確保については市長自ら動いてほしい。優秀な医師により、手術等の実績で収益増となり、経営改善にもつながる。

【市長】医師確保については全力を尽くしていきたい。県内の市立病院全ての共通課題であり、先頭に立つて取り組んでいきたい。

## 3. 特別養護老人ホームについて

下宗岡3丁目の新たな建設計画

◎ 設立法人…(仮称)社会福祉法人新座福社会

◎ 施設概要…100室(個室ユニットケア)

デイサービスセンター40人

地域交流スペース

※ショートステイは近い場所に20室程度設ける予定

- ◆ 市単独補助は行うのか。
- ◆ 市内待機者は112名とのことで、市内優先の要請をすべきでは。
- ◆ 低所得者対策として、社会福祉法人独自の減免制度を要請してはどうか。

【市長】平成20年早々の開所に向け、地権者との協議、地元住民への説明会、県への事前協議を進めていると聞いている。市としての補助は財政上困難と説明し、県補助金を活用したいとのこと。市内待機者優先の受け入れを協議している。低所得者の利用者負担については、減免制度適用をお願いしていきたい。

【天田】(社)ルストホフ志木の特別養護老人ホーム ブロンは、低所得者の利用者負担減免制度を未だに実施しておらず、改めてお願いしていくべき。

【健康福祉部長】今後、協力を求めている。

#### 4. 自然環境、緑地等の保全・再生について

2001年3月に市民協働で1800万円かけて策定された緑の基本計画の推進体制が未だなされていない。都市緑地保全法改正を受け、県はふるさと埼玉緑を守り育てる条例を整備している。自然再生条例に基づく自然保全再生計画(2002年3月)も、西原特定土地区画整理事業等、民間による開発の代償措置がなされないなどの課題がある。

【市長】両計画の実施体制については全庁的な課題と捉え、検討していく。

【天田】組織のあり方も検討し、自然環境に関する職員研修を行ってほしい。(→研修は早速実施の予定)



民間開発に際して、市民・行政・事業者の連携で一部が保全された「けいおうふれあいの森」

#### 5. 安全・安心なまちづくりについて(公共施設の被害状況と対応策)

6月26日(日)、「市役所前公園身障者用トイレの窓ガラスが枠ごと盗まれた」と村山快哉堂ボランティアが警備員室に連絡したが、「翌月曜日に職員に報告する」との対応だった。

- ◆ すみやかに職員に連絡をとる体制になっているはずなのに、なぜしなかったのか。
- ◆ 警察に被害届を出すべきと担当に提言したのに、出したのは7月12日、報告書も7月14日作成で、様式が整っておらず、担当者名や被害届についての記載もない。緊張感が無さ過ぎる。
- ◆ すぐ立件されなくても他の事件との関連から明らかになる場合もあり、従来は損害賠償請求をしてきている。市民は縦割りではなく横断的に防犯のまちづくり、青少年の健全育成のため動いており、危機感がある。

【市長】緊急時の連絡体制については、速やかに情報が伝達されるよう対応していく。

【財務部長】警備員が人命に関わる内容でないからと判断してしまった。本来は直ぐ連絡すべきだった。

【都市整備部長】今回の例を教訓として、今後は遺漏のないよう対応していきたい。

#### 6. 中学校通学区学校選択制について

完全自由化に向け、市長は教育委員会をお願いしていくということだが、実施の時期は。学校・家庭それぞれが責任を持って選び選ばれること、選択したら互いに協力して学校・地域を良くしていくという理念の共有が

重要と考える。そのための環境整備をどのように行っていくのか。

【教育長職務代理人・教育政策部長】 教育委員会としては4月1日から転校が可能となるよう、2006年4月実施を目途に検討を進めている。多くの解決すべき課題があり、保護者・市民への十分な説明を行い、理解をいただくことが大切と認識している。



## 7. 特別な教育ニーズへの対応について

### (1) ホームスタディ制度における課題

◆ 教員免許状を持った教育ボランティアの確保が難しく、謝金の時間500円を見直しても、ニーズにこたえていくべきではないか。

◆ 文部科学省は、「不登校児童・生徒のための独自のカリキュラム(教育課程)を申請すれば編成できる」という考え方を打ち出した。不登校の児童生徒についても、実態に合った個別指導計画を策定していくべきではないか。

【教育長職務代理人・教育政策部長】 現在、確保に大変苦慮している状況もあるので、検討していきたい。

◆ 過去3年間の成果・・・適用者数延べ81名中59名、73%が解決の方向性

◆ 今後の課題・・・制度がありながら活用していない事例についての実態把握、学校との連携による積極的予防策、教育ボランティアに対する研修会等。

◆ ニーズへの対応・・・夏休み等、長期休業中における対応など、本人・保護者のニーズに応えていきたい。

### (2) 特別支援教育について

今年度から校内委員会、学校コーディネーターの設置が義務付けられ、各学校で校内研修も行われていると思うが、取り組み状況は。個別指導計画を定めていくことが望ましいがどうか。

【教育長職務代理人・教育政策部長】 子ども一人ひとりに対する効果的な個別支援方法について、学校長のリーダーシップのもと、校内研修の一層の充実が必要。

◆ 2年目となる特別支援プログラムは昨年の2倍、22名の申請があり、個別学習評価等を行っているが、学校現場で活かせる具体的な学習指導について、専門的な助言と学校での取り組みを支援していきたい。

## ● 天田いづみの活動日誌(主なもの) .....

2月1日 市民病院古堅医務部長に患者の在宅支援を要請、MRSA、ケースカンファレンス、患者の心を重視した医療について

2日 社会教育法23条第2項の運用について調査(いろは遊学館 下河辺副館長、武井主任)  
社会教育法23条第2項に関わる運用基準作成について要請(杉山教育政策部長)  
市民病院医師確保を含めた今後の方向性について(助役)

3日 開発行為にかかわる住民への説明会(建築課、下水道課、防災交通課)

5日 宅老所開設支援セミナー「地域密着型サービスと小規模多機能居宅介護」厚生労働省老健局計画課痴呆対策推進室長 大島一博、NPO 法人『デイサービス このゆびと一まれ』代表・富山県民間デイサービス連絡協議会会長 惣万佳代子さん(NPO 法人 ワーカーズコープ)

6日 志木教育政策研究会“少人数学級のこれから”について・・・山形県教育庁 長南博昭、行田

市教育委員会 拍瀬裕之、志木二小 佐竹博さん他

9日 学校でのいじめ等に関わる対応について(新座自然宿 齊藤宗夫さん)

12日 いろは市民大学公開シンポジウム「変われ！地方自治」～地方主権の時代にどう対応するか  
～上田知事、穂坂市長、福岡政行志木いろは市民大学学長

14日 開発行為に関わる住民への説明会、現地調査

17日 老人保健福祉計画審議会及び介護保険事業計画策定委員会傍聴

18日 志木市立救急市民病院運営審議会傍聴

21日～3月17日 議会定例会

24日 日照権に関わる住民への説明会

26日 第3回ふれあいファイブスリー「さらなる分別を！」(中参ゴミ問題専門委員会)

4市まちづくりオープンハウスカレッジ「今までの学校、これからの学校～志木市の教育政策～」教育委員会教育政策部理事 金山康博さん

3月1日 青少年育成関係者による緊急会議後の状況に係わる報告会

6日 「百人の会」総会と長沼明県議の県議会報告(長沼明を支持する百人の会)

11日 東上線沿い7.5m道路グレーチングを改善、車両通過時の音が解消される

12日 05年度教育サービスセンター カウンセリングスタッフ内定者事前研修会  
彩の国まごころ国体志木市実行委員会 総会

15日 志木二中 卒業式

16日 志木地区衛生組合議会・・・構成市負担金と財政調整基金、補正予算のあり方等質疑

17日 議会最終日・・・収入役を廃止する条例・住民自治基金条例否決、05年度予算等4議案に  
反対討論、穂坂市長引退を表明

19日 市政の現状について市民と懇談

21日 志木二中吹奏楽部 第8回定期演奏会

23日 志木二小 卒業式

ハタザクラプランと各学校の実態に応じた支援策について保護者の意見を聞く(教育委員会金山理事)

24日 志木二中 学校公開

25日 福祉行政を担う職員のあり方について(牛越健康福祉部長)

26日 長沼明を支持する百人の会 役員会

天田いづみのティータイム

27日 「特別支援教育 親達、子ども達が本当に必要としているものは？」チューリップ元気の会代表  
溝井啓子さん、志木三小 足助校長他(プリズム)

特別支援教育における課題について(教育サービスセンター 柿崎所長)

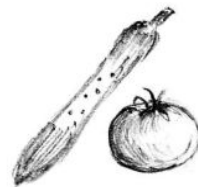
29日 特別支援教育に係わる配慮について(宗岡小 小川校長)

生徒の実態と学校の対応について(志木二中 大嶋校長)

4月3日 志木パークゴルフ協会 創立5周年記念祝賀会

ハタザクラまつり

5日 宗岡四小バックネット等視察(教育総務課、木田教頭、弘中教務主任)、黒沢校長と懇談



- 8日 志木二中 入学式、生徒指導について和田 PTA 会長と懇談
- 9日 大原ぼんぼこ公園 さくらまつり
- 10日 桜まつり花見会場 ゴミの山(柳瀬川土手)を視察、産業振興課に撤去要請  
長沼明県議、市民と今後のまちづくりについて懇談
- 11日 志木二小 入学式  
県新河岸川総合治水事務所 保泉所長と懇談
- 12日 教育相談のあり方について市民と懇談
- 14日 老後を快適に暮らす会 総会、懇親会
- 15日 小学校での生徒指導について(志木二小 佐竹教頭)  
小学校での生徒指導について(志木四小 大滝校長)
- 20日 「百人の会」県政スタディツアー(長沼明を支持する百人の会)  
第四次志木市総合振興計画審議会 第1回全体会 傍聴
- 21日 老人保健福祉計画審議会及び介護保険事業計画策定委員会 傍聴
- 23日 アフターファイブ(21しき市民会議5期のあつまり)
- 24日 NPO法人チューリップ元気の会設立記念講演会『いいところ応援計画』所沢市教育委員会  
健やか輝き支援室 阿部利彦さん
- 26日 市民病院清水院長、市民と病院経営の現状と目指すべき方向性について意見交換
- 27日 在宅介護支援センター柏の杜 介護予防の取り組みについて(福本相談員)
- 28日 志木二中 PTA 定期総会
- 29日 第4回明るい社会づくり運動 愛のチャリティーコンサート
- 5月3日 特別支援教育について(教育サービスセンター 清水主幹)
- 6日 校長会傍聴「特別支援教育について」志木市特別支援教育プログラム統括スーパーバイザー  
山本淳一さん  
志木四小もくせい会 定期総会
- 14日 環境デー クリーン作戦
- 15日 市民委員会 全体委員会  
NPO法人エコシティ志木 総会
- 16日 国立職業リハビリテーションセンター見学 岡谷主任職業訓練指導員他(日本脳外傷友の会)
- 17日 市長選挙立候補予定者説明会
- 18日 第3回市町村サミット～市町村の自立、国依存からの脱却を目指して～
- 19日 志木市精神保健福祉をすすめる会 第17回定期総会  
日本労働者協同組合連合会の地域福祉事業について(古村事務局長)
- 23日 長沼明を支持する百人の会 役員会
- 24日 長沼明県議 市長選挙立候補についての記者会見(新座記者クラブ)
- 26日 介護予防教室「新しい介護」リハビリデザイン研究所山田穰さん(在宅介護支援センター柏の  
杜)
- 6月2日 志木二中学生徒指導の状況について(北原教頭)
- 5日 志木市吹奏楽団オール志木ウインド 第7回定期演奏会



- 6日 介護予防教室「認知症(痴呆)予防」いこいの家コンクリヤ 細田和子さん(在宅介護支援センター柏の杜)
- 8日 ふれあいプラザ 行政パートナー委託業務について(市民活動支援課 鈴木課長)
- 10日 長沼明の県政報告会
- 12～18日 市長選挙 選挙運動・・・選対本部長として長沼明候補を応援
- 19日 市長選挙・・・投票率41.5%、13,028票で当選 !!
- 26日 長沼明、市民と今後のまちづくりについて懇談  
いろは市民大学公開講座『沈む日本～政治・財政・教育・外交～』福岡政行 志木いろは市民大学学長
- 28日 志木地区衛生組合議会・・・(仮称)志木環境センター建設用地の利用許可について
- 29日 長沼明選挙反省会・意見交換会
- 30日 老人保健福祉計画審議会及び介護保険事業計画策定委員会 傍聴  
穂坂市長退任式

### 一人会派になりました

山崎東吉、齋藤幸子議員より「市長選挙を分かれて戦った」ということで会派解散の申し出があり、これを受けて天田いづみは一人会派になりました。名称は山崎、齋藤議員が従来の「地方主権の会」ということなので、私は長沼明市長が市議時代の5年間、天田と組んだ会派名にあやかり「リベラル市民21」としました。

議院運営委員会にはオブザーバー参加しか認められませんが、代表者会議には会派代表として出席しています。

より良い志木市を創る立場から、他の議員とも可能な限り協力していきますので、皆様から率直なご意見・ご提言をお寄せ下さい。



市長選最終日、皆様のご支援に感謝 (05. 06. 18)

**\*\* これまでの活動とその成果は！！ \*\***  
**天田いづみのホームページでご覧下さい**  
<http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>  
 《天田いづみ》で検索して下さい



### ティータイム

**10月8日(土)**

**午後2:00～4:00**

**柳瀬川図書館2階和室**

最近志木の中で身近に感じていること、思っていることなどを気軽にお話しませんか？  
**緑といづみのふれあいネットワーク**

**(連絡先 天田 471-1338)**